

タイトル	送別の辞
著者	安酸, 敏真; YASUKATA, Toshimasa
引用	北海学園大学人文論集(48): 1-2
発行日	2011-03-31

送 別 の 辞

人文学部長 安 酸 敏 眞

2011 年 3 月 31 日をもって、英米文化学科の桑原俊一教授が停年でご退任されることになりました。ご退職にあたり、学部長としてひとこと送別の辞を述べさせていただきます。

桑原俊一教授は 1942 年新潟県にお生まれになり、東京経済大学経済学部をご卒業の後、青山学院大学大学院文学研究科の修士課程ならびに博士課程で、聖書神学について専門的な研究をお始めになりました。1975 年同博士課程を満期退学されると、同年 9 月からはアメリカ合衆国の大学院に留学して、太平洋神学校大学院 (Pacific School of Religion), GTU (Graduate Theological Union) 大学院博士課程、そしてカリフォルニア大学 (バークレー校) 大学院博士課程で、聖書学とメソポタミア学を専攻されました。1991 年には学位論文 *The Netherworld in Sumero-Akkadian Literature* (「シュメール・アッカド文学における冥界」) によって、カリフォルニア大学バークレー校から Ph. D. の学位を取得されました。アメリカ滞在は実に 17 年に及び、この間大学院での勉学の傍ら、教会の牧師職、大学の研究助手・講師・准教授を務められ、アメリカの文化・社会・宗教を広くかつ深く体験してこられました。1992 年北海学園北見大学商学部教授に招聘され、1995 年からは北海学園大学の、新設されて間もないわが人文学部に、「キリスト教文化論」(現「宗教文化論」) ご担当の教授として着任されました。

桑原教授の北海学園での奉職期間は通算 19 年、ここ豊平キャンパスの人文学部での在任期間は 16 年にわたり、まさにわたしたちの学部の最古参の一人として、学内外に大きな力を発揮して来られました。とくに 2004 年 4 月から 2007 年 3 月まで、3 年間にわたって人文学部長の要職を務められ、

学習環境の整備やカリキュラムの充実に尽力されました。アメリカでの豊富なご体験，流暢な英語能力，そして温厚なお人柄によって，難しい問題も円満に処理し，学部内の意見調整を見事に成し遂げてられました。

わたしはたまたま、桑原教授が学部長に就任された 2004 年 4 月に本学に着任しましたし，同じアメリカ留学の経験をもち，研究室も最初の 5 年間は隣同士，また所属している学会も幾つか共通していましたので，過去 7 年間先生には本当にお世話になり，また人一倍親しくしていただきました。学問上のことはもとより，人文学部の過去の経緯，学内情勢，カリキュラム上の問題点，学生指導のことなど，実に細々したことまでご教示して貰いました。自分がこうして学部長になってみると，先生が三年間学部長としていかにご苦労なされたか，はじめて理解できる次第です。

先生がこの 3 月末で本学を去られ，日常적으로お目にかかれなくなるのはとても残念ですが，今後は名誉教授としてご指導下さるよう切に願ってやみません。先生のご健勝とますますのご活躍をお祈りし，送別の辞に代えさせていただきます。